

平成31年4月10日

芦屋市企画部市民参画課
課長 浅野 令子 様

(あしや市民活動センター指定管理者)
特定非営利活動法人あしやNPOセンター
事務局長 橋野 浩美

第31回芦屋さくらまつり清掃ボランティアコーディネート事業報告書

1. 事業名：第31回芦屋さくらまつりボランティアコーディネート事業
(指定管理業務)
2. 実施日：4月6日(土) 8時～21時・7日(日) 7時30分～22時
3. 参加者：82名 (内実行委員9人 学生14人 企業7人 団体42人
一般5人 職員5人)
4. 参加団体：8団体(芦屋大学ボランティア部 aqua、甲南高校、甲南大学アイスホッケー部、朝日ヶ丘町自主防災会、東山町自主防災会、尼崎信用金庫阪神芦屋支店、AC30期、芦屋ガールスカウト)
5. 活動内容
 - ・清掃ボランティア実行委員会を1月7日(月)発足
構成は、大学生4人、高校生2人、職員4人
会議を重ね、3月30日(土)にオリエンテーションを開催した。
 - ・まつり当日は、ボランティアテントにて活動説明、休憩所の運営、ゴミ箱とゴミステーションを設け、ゴミ収集に努めた。また、ゴミ分別の徹底と啓発に努めた。
6. 振り返り

【実行委員会】

- ・大学生は経験者が1人であり、1日目は慣れない様子であったが、2日目からは動きがスムーズであった。
- ・持ち場の確認不足などで、休憩や食事時間の配分が難しかった。
- ・ボランティアの振り返りはボランティアブースの方がよかった。
- ・ビンの箱を小さくする等工夫を施したが、袋が大きかったせいで重たくなった。
- ・ゴミ箱90リットルを70リットルに戻す。(昨年、購入時に間違い、今年度も間違えたままであった。)
- ・最終のゴミ箱の片付け時間が行政と共有できていなかった。
- ・休憩所では、高校生と小学生のカフェが人気であった。

【活動全般】

- ・桜は満開、天候に恵まれたため、来場者が多く、ゴミの量も膨大だったため、ゴミを回収するのに追われた。
- ・啓発活動が疎かになる場面があった。
- ・近隣の町内の巡回をしたが、ゴミを落としているケースはなかった。

【出店者】

- ・ゴミ回収時間を出展団体に知らせたことで、燃えるゴミはほぼ回収できた。

- ・ JR 上のブース横の通路を出展団体が占領しているため通行しにくく、来場者にも迷惑をかけているようだった。
- ・ 段ボール、発砲スチロールなど捨てやすいように細かくしてほしい。
- ・ 例年同様、竹串、爪楊枝など先の尖ったものが多く危ない。

【一般来場者】

- ・ 来場者のマナーはほぼ向上している。進んでゴミをかたずけていた。
- ・ 一部、テーブルの上に飲食したものを放置して帰る方があった。(特に若い子育て世代の家族)

【清掃ボランティアの感想】

- ・ リードあしやでゆっくり休憩をできた。
- ・ みんなと協力出来てよかった。
- ・ 子どもたちがゴミを分別する姿が嬉しかった。
- ・ 来場者に感謝の言葉をいただき、やりがいを感じた。

【接触事故】

- ・ ボランティア運ぶゴミ袋と来場者との接触事故が 1 件あった。

8. 今後の対応

【実行委員会】

- ・ 昨年度の経験者 1 名、他は初めての学生中心であったが、継続を希望する声上がり、来年度への期待大。

【出店者】

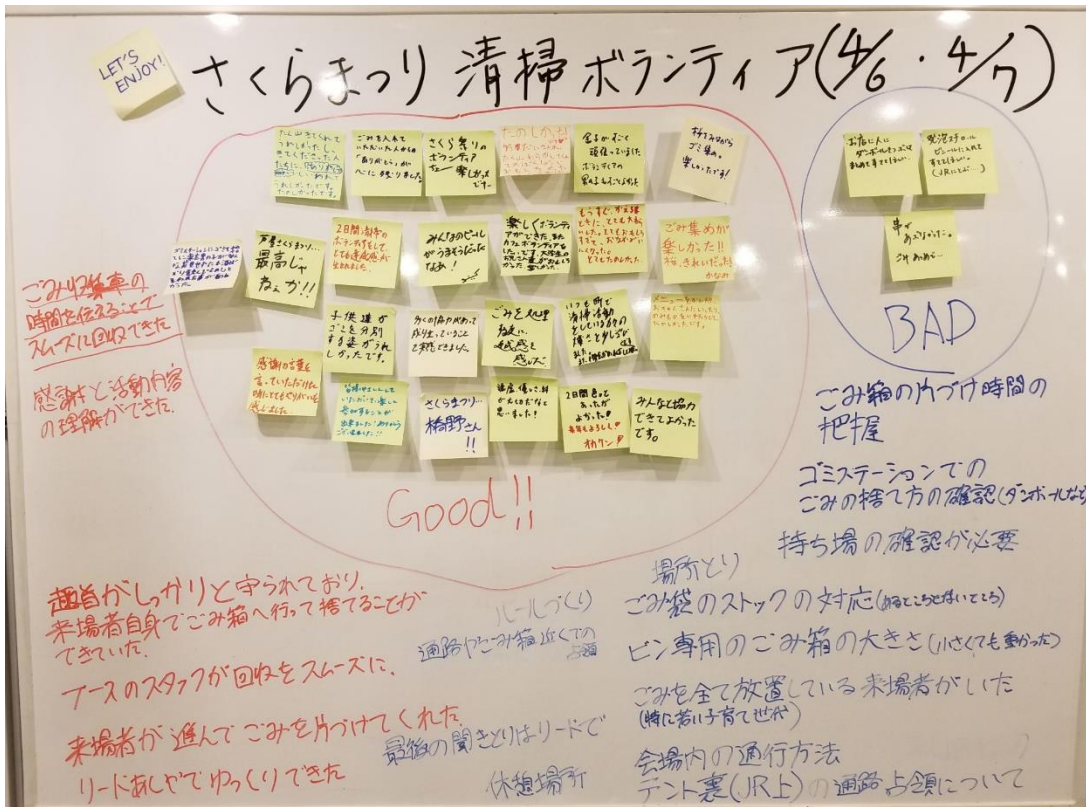
- ・ 清掃ボランティアとして参加を出店条件にすることを昨年に続き提案する。
- ・ 飲食テントから出る竹串や、発砲スチロールをエコ回収できるよう啓発する。

【会場及び来場者に関して】

- ・ ゴミの分別を広く呼びかける。
- ・ 帰宅途中でもゴミ箱以外のところに捨てない、モラルのある対応を期待したい。

以上





趣意がしっかりと守られており、
来場者自身でゴミ箱へ行って捨てること
であった。
ブースのスタッフが回数をスムーズに、
来場者が進んでゴミを片付けてくれた
リード板などでゆっくりできた

ゴミ箱の片づけ時間の
把握
ゴミステーションでの
ゴミの捨てる方の確認(ゴミポールの
持ち場の確認が必要

場所(と)
ゴミ袋のストックの対応(特にゴミポールの)
ピン専用のごみ箱の大きさ(小さくても重た)
ゴミを全て放置している来場者がいた
(特に若い子育て世代)
会場内の通行方法
テント裏(JR上)の通路と金額について



4月7日(日)
実行委員会振り返りと
ボランティアの意見

4月6日(土) 7日(日)
ボランティアの感想

3月30日(土)
ボランティアの意気込み

